

小学校第6学年 道徳科 学習構想案（例）

日 時 令和〇年〇月〇日（〇）第〇校時
 場 所 6年〇組教室
 指導者 教諭 〇〇 〇〇〇

1 学習構想

主題名	強い意志をもって物事をやり抜く心（内容項目A(5)希望と勇気、努力と強い意志）	
ねらいと教材	(1)ねらい タイの人々の暮らしを豊かにするという希望と強い意志をもって困難を乗り越え、農業指導に邁進した谷口巳三郎さんの生き方について考える活動を通して、困難なことがあってもくじけずに努力しようとする実践意欲と態度を育てる。 (2)教材名 今、君の瞳はかがやいているか 出典：「熊本的心 小学校5・6年（熊本県教育委員会）」	
評価の視点	評価の視点1	評価の視点2
	谷口巳三郎さんの行動を支えた思いについて話し合う活動を通して、困難にくじけず努力するために必要な心は何か多面的・多角的に考えている。	目標を立て、くじけずに努力することの大切さについて自分の言動と重ね合わせながら考えている。
目指す児童の姿		
目標をもち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜こうこととする児童		
主題に迫る学習課題（本時）		本主題で働かせる見方・考え方
谷口巳三郎さんの行動を支えた思いとは？		希望をもって困難を乗り越える人間の強さについて、多面的・多角的に考え、自分との関わりの中で考えながら、自己の生き方について考えを深めていくこと。
内容項目相互の関連的・発展的な指導、各教科等や体験活動等との関連的指導		
総合的な学習の時間	道徳科	各教科
「長崎を最後の被爆地にするために」 ○平和への願いをもって活動している人々の思いから、自分の生き方を探り、考えを伝え合う。	「大きな目標をもって-西山麗」 （出典：道徳6 きみがいちばんひかるとき 光村図書） A(5)希望と勇気、努力と強い意志 「今、君の瞳はかがやいているか」（本時） A(5)希望と勇気、努力と強い意志 主題名 強い意志をもって物事をやり抜く心 タイの人々の暮らしを豊かにするという希望と強い意志をもって困難を乗り越え、農業指導に邁進した谷口巳三郎さんの生き方について考える活動を通して、困難なことがあってもくじけずに努力しようとする実践意欲と態度を育てる。 「一さいから百さいの夢」 （出典：道徳6 きみがいちばんひかるとき 光村図書） D(22)よりよく生きる喜び	国語 「宇宙への思い」 ○宇宙や地球の未来に関わる仕事をする3人の文章を読み、3人に共通する考え方に気付く。 図画工作 「未来のわたし」 ○なりたい自分の姿を思い描き、造形作品として表現する。
特別活動		特別活動
「運動会」 ○仲間とともに協力して役割や責任を果たし、目標をもってあきらめずに最後まで取り組む。 「帰りの会」 ○サイコロトークで将来の夢や頑張っていることについて話したり、友達に返しの言葉を返したりする。		「将来の夢に向かって プロフェッショナル」 ○様々な職業で働く人の話を聞き、その職業に就くまでの道のりや仕事をする上での様々な苦労ややりがいに気付き、自己実現につなげる。 「係活動」 ○より良い学級になるよう、自分の力を発揮する。

2 主題設定の理由

学習指導要領における該当箇所(ねらいや指導内容についての教師の捉え方)																	
<p>本主題は、第5学年及び第6学年の内容項目A(5)「より高い目標を立て、希望と勇気をもち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜くこと」を基にしたものである。</p> <p>高学年の児童は、先人や著名人の生き方に触れる機会が多くなり、その生き方に憧れたり自分の夢や希望を膨らませたりする。一方で、自分自身に自信がもてなかったり、思うように結果が出なかったりして、夢と現実との違いを意識することもある。</p> <p>だからこそ、強い意志をもって困難を乗り越えた先人の生き方から人間の強さについて考え議論することを通して、自分の目標達成に向け、困難なことがあってもくじけずに努力しようとする実践意欲と態度を育むことが大切であると考える。</p>																	
本主題における系統																	
<p>小学校第3学年及び第4学年 内容項目A(5)(希望と勇気、努力と強い意志)</p> <p>自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志をもち、粘り強くやり抜くこと。 教材名「かけ足登校」 主題名「あきらめない心」 (出典：くまとの心 小学校3・4年)</p>	<p>小学校第5学年及び第6学年 内容項目A(5)(希望と勇気、努力と強い意志)</p> <p>より高い目標を立て、希望と勇気をもち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜くこと。 教材名「今、君の瞳はかがやいているか」 主題名「強い意志をもって物事をやり抜く心」 (出典：熊本の心 小学校5・6年)</p>	<p>中学校 内容項目A(4)(希望と勇気、克己と強い意志)</p> <p>より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気をもち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること。 教材名「サッカーの漫画を描きたい」 主題名「困難を乗り越える力」 (出典：あすを生きる1 日本文教出版)</p>															
児童の実態(児童の学習状況や実態と教師の願い)																	
<p>本学級の児童数(名)</p> <p>■主題に関する意識の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査内容</th> <th>ある</th> <th>ない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 夢や目標があるか。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. 夢や目標のためにがんばることに対して、きつくなったりあきらめたりしたことはあるか。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. 夢や目標を達成するためにどんなことをがんばっているか。</td> <td colspan="2" style="height: 30px;"></td> </tr> <tr> <td>4. 夢や目標をあきらめそうになった時、どうしているか。</td> <td colspan="2" style="height: 30px;"></td> </tr> </tbody> </table> <p>■考察</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 200px;">項目のみ記載しています</div>			調査内容	ある	ない	1. 夢や目標があるか。			2. 夢や目標のためにがんばることに対して、きつくなったりあきらめたりしたことはあるか。			3. 夢や目標を達成するためにどんなことをがんばっているか。			4. 夢や目標をあきらめそうになった時、どうしているか。		
調査内容	ある	ない															
1. 夢や目標があるか。																	
2. 夢や目標のためにがんばることに対して、きつくなったりあきらめたりしたことはあるか。																	
3. 夢や目標を達成するためにどんなことをがんばっているか。																	
4. 夢や目標をあきらめそうになった時、どうしているか。																	
教材の価値(使用する教材の特質や具体的な活用方法)																	
<p>教材「今、君の瞳はかがやいているか」は、貧しさに苦しむタイの人々の暮らしを何とかより良いものにしたいと考えた谷口巳三郎さんが、タイの風土や人々に合った農業技術指導に生涯をかけて取り組む話である。谷口巳三郎さんが大切にしている生き方について多面的・多角的に考えることを通して、希望をもつことの大切さや希望をもつが故に直面する困難を乗り越える人間の強さについて考えることができる教材である。</p> <p>本教材を活用した授業においては、教材への児童の課題意識から谷口巳三郎さんが大切にしたい生き方について考えることを通して、自分の目標達成に向けて困難があっても、くじけずに努力しようとする児童の実践意欲と態度を育てていきたい。</p>																	

3 指導に当たっての留意点

- (1) 【話し合い活動の充実】思いや考えをつなぐ学び合いの充実
 - 「谷口巳三郎さんの行動を支えた思いとは？」という学習のテーマに基づいて、それぞれが議論し、その内容を共有することで多様な考え方に触れられるようにする。共通点や異なる点、つながりなどに気づくことができるようにする。
- (2) 【発問の工夫】主体的な学びを引き出す課題設定や問いの充実
 - 児童の価値観の多様性に対応し、様々な視点から児童の考えを引き出すことができるように、事前に教材を読み、疑問に思ったことや考えてみたいと思ったことから発問を設定し、本時の学習テーマを深める話し合いにつないでいく。
- (3) 【板書の工夫】振り返りの充実(明確な振り返りの視点)
 - 児童がそれぞれ話し合ったことの共通点や相互の関係が分かりやすいよう整理して板書していく。
 - 学習の振り返りでは、「振り返りの視点」を示し、学習と自分の生き方を重ねて考える手立てとする。

4 本時の学習

(1) ねらい

タイの人々の暮らしを豊かにするという希望と強い意志をもって困難を乗り越え、農業指導に邁進した谷口巳三郎さんの生き方について考える活動を通して、困難なことがあってもくじけずに努力しようとする実践意欲と態度を育てる。

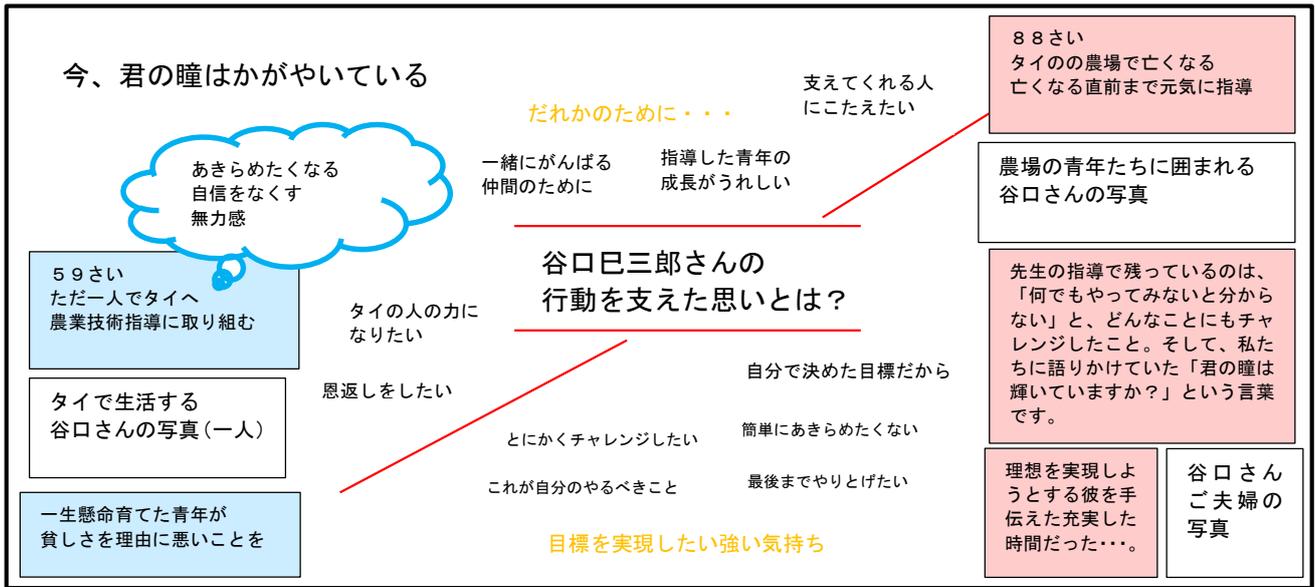
(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される児童の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	5分	1 教材の概要を把握する。	○教材文は事前に読み、児童が谷口巳三郎さんの生き方のどこに憧れや尊敬の念を抱いているか把握するとともに、児童が感じた課題意識を本時のテーマに繋げていく。
展開	10分	2 教材文をもとに道徳的価値について考える。 (1) あなたが谷口さんだったら、どんなことが苦しい、つらいと感じるだろう。 ◇タイにたった一人で行ってさみしいこと。 ◇言葉が通じないので教えるのが難しい。 ◇生活の仕方や考え方が違う。 ◇お金がどんどん減って貧しいこと。	○谷口さんが直面する困難について具体的な場面を想起し、自分事として考えられるようにする。 ○谷口さんの死後の新聞記事を参考資料とし、困難な状況に負けず30年間活動を続けたことやタイで谷口さんの教えが根付いていること、支えてくれる人の存在にも触れていく。
	23分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> 【学習課題】 谷口巳三郎さんの行動を支えた思いとは？ </div> <p>【中心発問】 (2) こんな状況の中で頑張り続けることができたのはなぜだろう。</p> <p>(発表ノート記入→グループワーク→自由交流→全体交流) ◇親切にしてくれた人への恩返しをしたい。 ◇今自分が諦めたら、タイの若者の暮らしがいつまでもよくなる。 ◇この若者たちに何としても、力をつけさせたかったから。 ◇できるところまで、諦めたくない。 ◇とにかくチャレンジしたい。 ◇誰かの助けになりたい。役に立ちたい。 ◇支えてくれる人の期待に応えたい。 ◇一緒に頑張るタイの若者の存在があったから。</p>	○児童がそれぞれのペースで多面的・多角的な考え方に会うことができるよう発表ノート（タブレットPC）に記入したものを共有できるようにする。そのうえで、児童が自分と似ている考えや新たに出会う考えの友達と自由に交流できる場面を設定する。 ○児童の発言に対して全体に問い返すことで、考えをより具体的にし、多様な考え方があることに気付くようにする。 ○谷口さんの行動を支えた思いについて、児童から出された考えを整理して板書し、多様な気付きを視覚的に捉えられるようにする。 ○目標を達成するためには、自分の中にある強い意志と周りの人との関わりが相互に結び付いていることにも気付かせたい。
終末	7分	3 自分自身を振り返る。 (1) 今日の学習を振り返りましょう。 (振り返りの視点) ・谷口巳三郎さんの生き方から学んだこと ・これまでの自分について ・これからの自分の生き方にどう生かしていきたいか (発表ノートに記入→共有→全体交流)	○谷口巳三郎さんが掲げた21世紀農場のスローガンを提示し、自分と重ねた振り返りの手立てとする。 ○振り返りの視点を示し、道徳的価値と自分を重ねて考えられるようにする。

【評価の視点1】 谷口巳三郎さんの行動を支えた思いについて話し合う活動を通して、困難にくじけず努力するために必要な心は何か多面的・多角的に考えている。（発言・発表ノート）

【評価の視点2】 目標を立て、くじけずに努力することの大切さについて自分の言動と重ね合わせながら考えている。（発言・発表ノート）

【板書計画】



【参考資料】

- ・「熱帯に生きる」(北部タイ農村振興支援会)
- ・2012年1月9日付西日本新聞朝刊